

■子ども達も大喜びで順番に並び、自分の番が来るのを待っていました



■「ほら、みて〜！こんな大きいのもらったよ」と嬉しそうに教えてくれました



■「わたし、あれがいい〜」と自分で欲しいレタスを決めていました



■農業技術講習会に参加した皆さんは3月にレタスの作付けをおこなっていました



## つるの恵みをおすそわけ つるの野菜収穫イベント を開催しました！

去る5月11日、大原の畑で野菜の収穫イベントを開き、市内13の幼稚園、保育園の園児235人を招待し、収穫したレタスをプレゼントしました。

本市では、平成28年夏のオープンを目指し、リニア見学センター近くの同地区に、大規模な農林産物直売所（道の駅）登録予定を建設する事業を進めています。

その事業の一環として、昨年11月から農業技術向上講習会を6回開催しており、約60名の農業者が実践講習会に参加しています。

今回の企画は、3月の実践講習会において作付けしたレタス4種類（ロメインレタス、サニーレタス、リーフレタス、玉レタス）を都留市の恵を味わってもらい、地産地消の啓発及び直売所事業を理解してもらい「子ども達に愛される施設になれば」という思いからこのイベントを開催しました。収穫したレタスを受け取った園児たちは、「家に帰ってどうやって食べようかな？」と悩みながらも、皆うれしそうに持ち帰ってくれました。

子ども達の笑顔が何よりの収穫となりました。

農林産物直売所建設プロジェクトリーダーを紹介します。

妹尾 薫さん 38歳



福岡県朝倉市から妻と子供2人を残し、この度単身赴任で都留市に参りました、妹尾 薫と申します。

前職は福岡県朝倉市にある農産物直売所では、経営面、農作物の作付け、加工品開発、観光農園（イチゴ狩り）の運営をしていました。4年間の勤務経験を通して感じたことは、いかに農業従事者の方々が、農業での所得確保が非常に難しいかを理解しました。

【農林産物直売所に対する想い】

この度都留市の直売所建設事業公募を知り、自分が前職で経験した失敗や体験を活かすことができ、地域貢献、農業者所得向上に貢献できるのではないかと考え応募させていただきました。

直売所建設は、都留市民の

方々から多大な期待をされ、責任ある事業だと自覚しています。これだけ大きな職責を任されることに少々不安はありますが、やりがいを感じています。

これまでは直売所運営面で仕事をしましたが、直売所建設立ち上げ時から関与できる幸せを感じています。地域にある当たり前の食文化、地域特産品に県外出身者として新鮮な目線で光をあて、地域を活性化させていこうと考えています。当然直売所立ち上げ時には苦労することも沢山あります。苦勞も楽しみにかえ尽力してまいります。地域の皆さまに愛されるような店を作り、この地域に貢献できればという所存です。その先に、地域に評価・愛されている店として観光目的のお客さまが来てもらえるものと考えています。

これから直売所ができることで、地域経済への波及効果があるよう仕掛けをしていきます。直売所だけが活性化しても意味はなく、地域へ経済効果が波及できるように工夫していく予定です。

まずは、市民を始め地域の皆さまに愛される店舗づくりを目指します。